

かわらばん



西東京市立柳沢中学校

第1学年便り

令和5年9月8日

No.19

なぜ勉強しなくてはいけないのか？



柳沢中では年間4回の教育相談を行っています。各学期にそれぞれ1回と、夏休み明けに1回です。各学期に行われている教育相談は、東京都が定めている「ふれあい月間」で実施するため、いじめに関するアンケートも行っています。教育相談には、いじめに関するアンケート以外に、皆さんの心の状態を把握するアンケートも含まれています。皆さんがアンケートにチェックする項目で、一番多く付けられるのが「勉強」に関することです。いつも「勉強にやる気が出ない」「どうやって勉強したら良いか分からない」などに〇が付くことが多いです。「やる気の出し方」「勉強のやり方」については、また改めて語っていこうと思いますが、今回は、そもそも「なぜ勉強しなくてはいけないのか」ということについて、考えてみようと思います。

以前、校長先生がクラスルームに出した作文の課題に同じテーマが出されたことがありましたね。「なぜ勉強しなくてはいけないのか」、その課題に自分の考えを書いた人は、学年で5名ほどいました。内容を見てみると、「将来のため」「就職のため」「受験に必要なだから」などといったことがつづられていました。たしかに、高校入試やその先にある大学入試では、勉強が必要になることは当然ですし、学力を高めることで、将来の選択肢の幅が広がりやすくなるのも事実です。そういう意味では、勉強は必要なのかもしれませんが。

他にはどんなことが考えられるでしょうか？ 実はこの質問、大人に聞いてみても、なかなか答えるのが難しい質問だと思います。一つの考え方ですが、先生はこの質問に対して、いつも「**勉強とは、生きること**」と答えます。今皆さんが取り組んでいる勉強のほとんどが、答えのあるものを学んでいます。しかし、大人になって社会に出ていくと、答えのない問題をたくさん解かないといけません。だから、学生のうちに答えのある問題を解く訓練をたくさん積む必要があります。そして、学生時代に学んだことを活かして、社会に出て答えのない問題に立ち向かっていくのです。たしかに、社会科で歴史を学んでも、そのまま社会に出て活用する、ということは少ないと思います。しかし、歴史を学ぶことで、過去に起こった出来事から法則性を見出し、これから起こる未来を予想できるかもしれません。他の教科でもそうです。直接、役には立たないかもしれないけれど、数学で学んだ頭の使い方が意外と仕事に役立つ時があるかもしれません。つまり、**勉強は日々の生活と結びついており、勉強を通して知識や思考力、創造力、解決力などを身に付けることで、自分の生き方も大きく変えることができる**と考えています。勉強は、学校の机の上で行うだけではありません。大人になっても日々勉強です。先生たちも、皆さんが社会に出て、生きる力を身に付けられるようにどうすれば良いか、という問題に向き合いながら、日々勉強をしています。なぜなら、先生たちにとって、それが「生きること」だからです。

今回は「なぜ勉強しなくてはいけないのか」ということについて考えてみました。今やっている勉強が役に立つ、役に立たないという損得勘定^{かんじょう}ではなく、少し視野を広げて考えてみると、勉強の必要性が見えてくるかもしれません。今回の『かわらばん』を書きながら、太宰治^{ださいおさむ}さん（有名な小説家です。代表作品に『人間失格』があります）の『正義と微笑^{びしょう}』という作品を思い浮かべました。そこに勉強のことについて書かれた部分があったので、最後に紹介したいと思います（どんな作品なのかは調べてみてくださいね）。ぜひ、自分なりに勉強する理由を探してみてください。

「勉強というものは、いいものだ。代数や幾何の勉強が、学校を卒業してしまえば、もう何の役にも立たないものだと思っている人もあるようだが、大間違いだ。植物でも、動物でも、物理でも化学でも、時間のゆるす限り勉強して置かなければならん。日常の生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。何も自分の知識を誇る必要はない。勉強して、それから、けろりと忘れてもいいんだ。覚えるということが大事なのではなくて、大事なのは、カルチベート^{*1}されるということなんだ。カルチュア^{*2}というのは、公式や単語をたくさん暗記している事でなくて、心を広く持つという事なんだ。つまり、愛するという事を知る事だ。学生時代に不勉強だった人は、社会に出てからも、かならずむごいエゴイスト^{*3}だ。学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいかん。そうして、その学問を、生活に無理に直接に役立てようとあせってはいかん。ゆったりと、真にカルチベートされた人間になれ！」

(太宰治『正義と微笑』1942年)

*1「カルチベート」は「修める、練磨する、深める」などという意味になります。公式や単語をたくさん暗記しているだけでなく、自ら考えることの重要性、資質・能力の育成の大切さについて述べています。

*2「カルチュア」は「文化」という和訳もありますが、「教養」という意味もあります。

*3「エゴイスト」は「利己主義」という意味ですが、簡単に言うと「わがままな人」ということです。



■来週の予定 (9/11 (月) ~ 9/16 (土))

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考	
9/11 (月)	A	総合	技術	英語	美術	社会	理科2	生徒会朝礼 安全指導 放)合唱コン実行委員会	
	B		英語	技術	国語1	数学	国語2		
	C		国語2	英語	技術	美術	社会		
9/12 (火)	A	英語	家庭	体育	社会	数学	国語1	放) 審査委員会	
	B	社会	英語	家庭	数学	国語2	美術		
	C	英語	美術	体育	家庭	数学	社会		
9/13 (水)	A	音楽	社会	理科2	数学	道徳			
	B	理科2	音楽	数学	社会				
	C	社会	理科1	音楽	数学				
9/14 (木)	A	数学	理科1	音楽	国語1	英語	国語2	開校記念日 部活動体験 ※試験2週間前	
	B	理科2	音楽	数学	理科1	体育	英語		
	C	数学	社会	国語2	音楽	英語	理科2		
9/15 (金)	A	数学	理科2	体育	社会	英語	学活	部活動体験	
	B	社会	体育	理科2	英語	国語2			
	C	数学	理科1	体育	国語1	英語			
9/16 (土)	A	防災教育の日							土曜授業日 防災教育の日
	B								
	C								

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。